

『この決算書、何か変だぞ?』・・・一見正しそうな数値に潜む不正・ミスを見逃さないためにどうしたらいいのか。 決算書類の『おかしい数字』の見抜き方テクニック

～基本編と不正会計編の2つのセッションで分かりやすく学びます～

●開催要領●

●日 時●2018年 8月10日(金) 10:00～17:00

●会 場●企業研究会セミナールーム (東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

講師紹介

(株)ヴェリタス・アカウンティング 代表取締役社長・公認会計士 山岡 信一郎 氏

【講師略歴】1993年 3月慶應義塾大学経済学部卒業。1994年 10月公認会計士第2次試験合格 監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)入所。国内監査グループに所属。主に東証一部上場企業の監査に従事。東証一部上場企業では、大手メーカー、システム開発会社、技術者派遣会社等の現場主任として法定監査を行う。日本公認会計士協会実務補習所(現一般財団法人会計教育研修機構実務補習所)実務補習所委員として、補習所クラス担任に3年間従事するとともに、実務補習所の講師も担当する。2007年 10月 監査法人トーマツ退所後、株式会社ヴェリタス・アカウンティング設立、代表取締役社長就任、弁護士の父とともに山岡法律会計事務所設立、パートナーとして就任。現在に至る。内部統制報告制度や IFRS(国際財務報告基準)についてのコンサルティング業務が中心となっている。また、上場会社の社外監査役、会計顧問も務めている。

<受講者特典: セミナー当日、講師著『新訂版おかしい数字をパッと見抜く会計術』(清文社)をサブテキストとして配付します。>

●ご参加頂きたい方●

監査役、内部監査、経理、経営管理部門にご所属されているご担当の方々

■受講料: 1名(税込み、昼食代・テキスト代 含む)

正会員	37,800円 (本体価格 35,000円)
一般	41,040円 (本体価格 38,000円)

■参加要領

当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。後日、(開催日1週間前～10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

*正会員登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当会ホームページでご確認いただけます。

((セミナー・会員研究会)→[よくあるご質問])

*お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。

*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、予めご了承ください。

*申込書をご送信頂く際はくれぐれもFAX番号をお間違えないようご注意ください。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局

担当/鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp

TEL:03-5215-3513 FAX:03-5215-0951

東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

当会ホームページよりお申込みいただくのが便利です。

企業研究会 セミナーQ 検索

※書面にてお申込みの場合には下記申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。

181567-0206		決算書類の『おかしい数字』の見抜き方テクニック	
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

● プログラム ●

8月 10日
(金)

10:00
(スタート)

【開催にあたって】

決算書、帳簿、管理資料といった決算に係る書類上に発生する「おかしな数字」を見抜くコツを身につける「決算書類の『おかしな数字』の見抜き方テクニック」の基本編に、新たに「不正会計」発見の重点ポイントを盛り込んだプログラムとなります。重要資料のミスや不正の発見、不正会計防止の体制強化のためのヒントを探っていきます。尚、サブテキストとして、講師著書『新訂版おかしな数字をパッと見抜く会計術』（清文社）を当日配付します。

1. 「おかしな数字」を見抜くための心構え

- ・「おかしな数字」とは何か
- ・「おかしな数字」が発生するリスクを把握する
- ・「おかしな数字」と内部統制との関係
- ・決算の流れと粉飾(どこから「ウソ」は始まっているのか?)

12:00

昼食タイム

13:00

2. 「おかしな数字」を見抜くための分析手法

- ・基本は数値比較
- ・簡単な財務指標を使って前期比較する
- ・予算実績比較のポイント
- ・月次推移比較のポイント
- ・勘定科目・数値そのものから見抜く

午後 途中
休憩タイム
あり

3. 主要な勘定科目別の「おかしな数字」の見抜き方(ケーススタディ)

- ・現金、預金、有価証券・投資有価証券、売掛金、棚卸資産、有形・無形固定資産、買掛金、引当金、等の「おかしな数字」事例を扱ったケーススタディ

4. 不正会計発見に重点をおいた「おかしな数字」の見抜き方

- ・「おかしな数字」の中でも「不正」に重点をおいた見抜き方のポイント15
- ・不正会計のパターンを知り、「数字」だけではなく、「人」や「管理」の面から、状況を総合的に把握する
(ポイント例) その取引先との取引理由は何か
モノ・サービスの対価は妥当か
資産は買った値段のままよいか
貸付金の目的は何か ほか

5. 決算書の「おかしな数字」の見抜き方(ケーススタディ)

- ・不正会計が行われた会社の決算書の「おかしな数字」事例を扱ったケーススタディ

17:00
(終了)